

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

下北支部 1 月例会

私は「青春請負人」

～いくつになってもやってくる

「青春」をお手伝いする～

◆報告者◆

(株)池田介護研究所

代表取締役 池田 右文 氏

(八戸支部)

(2023/1/24 参加 8 名)



★★★ 感想文 ★★★

大寒の中、新年初の下北支部例会に各支部から参加いただきました。池田さんより道路事情で遅れるとの連絡が入り急遽社会保険労務士の石戸さんに働き方改革のミニ講座をお願いし、就業規則、変形労働時間制に関する協定書等の届出、労働安全衛生や行政指導の話。労災保険では運送業の場合、脳・心臓疾患割合が多い話をされ、各自個別指導で自社を客観的に見直す機会になりました。

その後池田さんが到着し、「私は『青春請負人』」の報告。要介護、障害者の自立支援で地域貢献を目指し、カフェ、弁当店等、みんなで働き、出来る仕事をやり人生最後まで現役世代の共生型事業所。来たくて来る充実した生活交流が、スクリーン

から流れ、会話が聞こえてきそうな風景。制約がある中、協力を呼掛け、アプリ作成を披露。起業して九年間の歩みを話され、会員から下北での創業依頼など意見交換しました。大変な気象状況の中ありがとうございました。

記/(有)カワシタ電業 取締役 川下 真紀子 氏

↓ 1/25 青森支部例会 参加者 21 名



↓ 1/26 津軽支部例会 参加者 10 名



↓ 1/27 上十三支部例会 参加者 17 名





一日目の分科会と二日目の記念講演報告者も企業変革支援プログラムをしっかりと実践していました。組織変革によって退職者は必ず増えるが実行をもたらすためには決断、断行に加え覚悟が必要。独断にならないように社員の意見は十分に聞き改革の目的や内容を十分説明する。しかし、やるべきことは断固として実行する姿勢は重要であること。

経営者の責任、経営理念の実践、人を生かす経営の実践、付加価値を高める、企業の社会的責任など組織として力を発揮することができていなかったその原因は我にありと考えることである。ビジョンは組織の根幹である。ビジョンがあるからこそ組織としての活動ができる。そのためにも SWOT 分析、外部・内部環境の分析には必要であり重要である。

最後に「経営継続のために、人を育て、人を活かし、未来を共有する仲間を増やし、しなやかで強靱な組織を創る」これは全国中小企業家同友会の使命と心に刻みました。

記/ (有)松竹梅造園 代表取締役 渡辺 精一 氏

第53回全国研究集会 in 長野へ参加しました。分科会のテーマは「事業定義の見直しから地域づくりへ」でした。企業の成長と地域の発展は不離一体として話が進んでいきました。業績不振を境に事業定義を見直し、「自社が地域に耳を傾け、応えることで成長させていただいた会社である」ということを基軸に新たな取り組みをしていったそうです。同友会へ入会し経営指針を創る会を受講する事で、これまで、赤字体質、自分が居ないと任せられない、社員が育たないなどの悩みがあったが、そこから社員がやりがいをもてる、わくわくする会社にしようと取り組んでいったそうです。今は事業定義を通じた活動をしていくことで、地域の声に応えながら業績も伸ばしていく事ができている。グループ討論テーマの「自社も事業定義は何か？」をもう一度見直し、事業展開をしていきたい。

記/ (株)想い工房 取締役 吉田 亮子 氏

「第53回中小企業問題全国研究集会 in 長野」第11分科会「事業承継：誰に引き継ぐかより、何を引き継ぐか」を選んだ。

精密板金加工の(株)アルカディア会長の松井利光氏とバトンを受けた代表取締役の^{すのはら}春原直樹両氏による報告であった。

跡取り候補の娘を解雇し社員である春原氏を後継者指名するなど一見厳しい方針に戸惑いながらのバトンタッチであった。現会長の松井氏は言います。「後継に子供がなってくれると信じていたがその難しさに痛感しつつもコツコツと社の理念に沿った春原氏の仕事ぶりに運命を感じた」と。

長野同友会でも厳しい経営者として名高い松井氏はバトンを渡した後は全てを任せ、良きアドバイザーでいるとのこと（渡した後も大事）。またグループ討論では「理念のブラッシュアップ」という言葉も出た。

2日目の基調講演は相澤病院相澤孝夫氏の「経営者として、いま何をなすべきか！！」であった。

「先生」と呼ばれ、初めから立ち位置が違う存在である、と感じていたが相澤氏の「労使見解」に則った考え方と実践に感動した話であった。最後にサプライズがあり、スポンサーとなっているオリンピック選手の小平奈緒さんの登場で会場が盛り上がった。当時受け入れ先のない状態で不安であった小平さんは、相澤先生の「一緒に仕事をしませんか！？」に感動。アスリートに対し「面倒見る」「期待する」という言葉が多い中ではさりげない「応援」の言葉がありがたく、この先もずっと一緒に仕事をしたいと思っているとのことであった。

最後に分科会終了後の青森同友会の各分科会反省会は盛り上った。報告例会でグループ討論が如何に大事なのかを改めて思い知った気がする。

記/ 鈴木建設工業(株) 代表取締役社長 花田 仁 氏



八戸支部 & 青年部会 3月合同例会 自立型経営への変革



◆報告者◆

ふじむら農園 (岩手同友会)

代表 藤村 真哉 氏

(2023/3/2 参加 34 名)

★★★ 感想文 ☆☆☆

農業は高齢化が進み、後継者不足と言われ続けている。一方で、農業はこれから間違いなく発展する産業だと20年以上前から言われてきた。

このような現状の中、ふじむら農園の藤村真哉さんは、自社及び生產品のブランディングを見事に成功された。ふじむら農園の後継者として戻られ、さらに新しい時代の農業、現在の日本で自分ができる自分らしい農業を深く考え、実践してきた。その結果、社員が成長し、売上が伸び、自立型経営への変革につながったのである。私も実家の農業を継承するために現在農業研修など行っている。代々行われてきたことを変えることはかなりの勇気が必要であるが、自社の強み、生產品の強みを再確認し、継続することは継続し、変えなければならないことは変える決断をし、実践していかなければならない。

藤村さんの報告を聞いて、自分が今できることをしっかり行い、農業を次世代に繋ぎ、事業としての使命を果たしていく覚悟ができた。

記/ながうし農産加工企業組合

代表理事代理補佐 長牛 友重 氏



↓ 3/15 青森支部例会 参加者 18 名



↓ 3/16 下北支部例会 参加者 7 名



↓ 3/17 第 21 回女性部会総会 参加者 31 名



↓ 3/20 上十三支部例会 参加者 26 名



第20期経営指針を創る会に向けた 修了生勉強会&19期振り返り 企業変革支援プログラム Ver.2



◆Ver.2 解説◆

附田 久志 経営指針委員長
(上十三支部)
(2023/3/11)

★★★ 感想文 ★★★

経営指針を創る会修了生勉強会に参加しました。内容は企業変革支援プログラム Ver.2 の勉強会です。これは、企業変革支援プログラム STEP.1 と STEP.2 を一つにまとめ、さらにバージョンアップしたものだ。講師は(株)青北建設の代表取締役社長附田氏です。勉強会では、実際に企業変革支援プログラムに取り組みました。経営者の責任に始まり最後は企業の社会的責任までの大きな項目がⅠ～Ⅵまであり、自社の現状の成熟度を評価した上で、目指す成熟度を設定し、さらに優先順位を設定しレベルアップをしていく為のものになります。今現在、何が出来てなく、何が必要なのかがわかる内容になっています。今回の勉強会を通じて、企業の発展は、自社は現在どのような状態なのか課題を把握すること、その上で目標とする姿、理想の姿を構想し、現状とのギャップを認識し、そのギャップを克服していくことなのだと思います。今後も継続的に取り組んでいきたいと思います。

記/(株)想い工房 取締役 吉田 亮子 氏



2 月理事会報告

於:事務局 2023.2.1(水)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2022 年度重点活動方針
- 青森同友会 3 カ年ビジョン(2020～2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について

①2 月の各支部、全県の動き

②第 53 回中小企業問題全国研究集会 in 長野

- 支部長会議について
- 役員研修会の振り返り

3)審議・確認事項

- 2023 新春例会 in 津軽について
- 第 26 回定時総会について
- 年度会勢目標に向けての取り組みについて
- 各支部、委員会からの報告

会員数 407 名/入会 5 社 退会 2 社

3 月理事会報告

於:事務局 2023.3.1(水)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2022 年度重点活動方針
- 青森同友会 3 カ年ビジョン(2020～2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について

①3 月の各支部、全県の動き

②第 53 回中小企業問題全国研究集会 in 長野

- 中同協総会での分科会報告者派遣について
- 支部長会議について

- 第 20 期経営指針を創る会に向けて

3)審議・確認事項

- 青森同友会 3 カ年ビジョンの検証について
- 第 26 回定時総会について
- 年度会勢目標に向けての取り組みについて
- 各支部、委員会からの報告

会員数 406 名/入会 2 社 退会 3 社

【次回開催日】2023 年 3 月 30 日(木) 13:30~/事務局

